

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月

事業所名

クレヨンルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		パーテーションで区切ったり、個室を利用する等の工夫をしている。	引き続き換気等に気を付け、基本的な感染対策を行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		より良い療育を提供できるように、有資格者の配置もできている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		イラストを用い、わかりやすく構造化している。また、バリアフリーになっていない箇所には踏み台を設置するなど配慮している。	踏み台使用時の声かけなどは引き続きしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		情報共有を大切にし、目標を全体で設定して日々の業務に活かしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		評価結果を全職員で把握し、改善点などを確認している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		保護者へ対面での結果・改善点の説明及び、HPでの公表をしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		研修機会を確保し、職員のレベルアップを図り、日々の支援に活かしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		ニーズ等を保護者からしっかりと聞き取り、課題点を考慮し計画書の作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		発達状況を把握し定期的に評価をしながら支援している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		職員間で立案・検討し、より良い療育が提供できるように行っている。	
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		利用者の発達状況に合わせた活動内容になるように日々チェックしている。	引き続き、工作・運動等はマンネリ化しないように注意していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		活動を通して様々な経験ができるように気をつけている。	引き続き、長期休業日は特に充実した活動内容になるようにしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントや会議等で得た情報を基に個別・集団療育を組み合わせて計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		活動内容を確認し、円滑に活動でき利用者がスムーズに動けるように役割を決めている。	

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		振り返りを行い、以降の活動に活かしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		記録は必ずとり、支援の検証・改善につながるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い、目標などの見直しが必要か検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		・成功体験を積み、自己肯定感を高める自立支援を行っている。 ・創作活動を通して、表現する喜びを育み、指先訓練等を合わせた支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		サービス担当者会議に児童発達管理責任者や、対象の利用者の状況をよく理解した職員が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		関係機関と連携し、情報共有を図りチームとして支援できるように努めている。	学校と連携し、年間計画・月間予定表をもらっており、これからも情報共有を行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	非該当			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		<input type="radio"/>		児童発達支援から引き続き放課後等デイサービスを利用している子は保育所等と情報共有できているが、新規の利用者は情報共有できていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>			該当者はいないが、今後障害福祉サービス事業所へ移行する場合は本人・保護者の同意を得たうえで情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		各関係機関の開催する研修に進んで参加し、必要があれば助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時に様子を保護者に直接伝え、情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明をしている。	質問や困りごとがあればその都度説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者の気持ちの負担軽減を図り、必要であれば助言をし支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		意見箱を設置し、苦情があった場合は第三者委員も同席をして話し合いができるように体制を整えている。	

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	お便りを定期的に発行し、HPのブログでも活動内容が分かるように発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>	個人情報には十分に注意し、HPのブログなどの写真には個人を特定できないように配慮している。また、保護者の方に肖像権の同意書をもらっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	連絡ノートや送迎時・電話等を活用し支援内容が毎回分かるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	地域の方にカード等を渡している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	契約時に災害時の対応など説明している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	定期的に訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	毎年、虐待防止の研修会をしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	身体拘束を行う場合の状況を全職員で把握しており、必要があれば保護者に十分な説明をし、個別支援計画書にやむを得ない場合は身体拘束を行うことを記載する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	契約時に確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハット事例集を職員で確認し、日頃から気をつけている。	